News Release　ヤマハ株式会社

2015 年 8 月 26 日

音質と臨場感をさらに進化させた Dolby Atmos®＊1&DTS:X＊2対応モデル
フラッグシップ AV プリアンプ新発売

AVENTAGE
Separate Series

ヤマハ　AV プリアンプ『CX-A5100』

ヤマハ株式会社は、AVENTAGE（アベンタージュ）セパレートシリーズのフラッグシップ AV プリアンプ CX-A5000 の後継機として、すべての回路基板を刷新するなどの全面的な改良で音質と臨場感をさらに進化させた Dolby Atmos®& DTS:X 対応 11.2ch AV プリアンプ『CX-A5100』を 10 月上旬より全国で発売いたします。

＊1: Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）＝ドルビーラボラトリーズ社が開発した最新の 3 次元サラウンドフォーマット。
＊2: DTS:X（ディーティーエス エックス）＝DTS 社が開発した最新の 3 次元サラウンドフォーマット。（ファームウェア更新により対応予定）

＜価格と発売時期＞

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVプリアンプ	CX-A5100	（H）チタン、（B）ブラック	280,000円（税抜）	500台	10月上旬

＜製品の概要＞

今回発売する『CX-A5100』は、2013 年に発売した前作 CX-A5000 をベースとしながら、音質と臨場感をさらに進化させた 11.2ch AV プリアンプの第 2 世代モデルです。本機の開発にあたっては、最新の 3 次元サラウンドフォーマットである「Dolby Atmos®」「DTS:X」を含むあらゆるプログラムソースの完全再現を念頭に、アナログ系・デジタル系・電源系に及ぶすべての回路基板を刷新するなどの全面的な改良を実施。前作でも高い評価をいただいた音の基本性能を飛躍的に向上させるとともに、新たな音場創生アルゴリズムの採用や信号処理の高速大容量化によって、当社が誇る音場創生技術の最高峰「シネマ DSP HD³（エイチディ キュービック）」と 3 次元サラウンドフォーマット（Dolby Atmos®など）との掛け合わせ再生を史上初めて実現しました。さらに ESS 社製 32bit ハイグレード D/A コンバーターやシネマ DSP HD³フルプログラム、新たに 0.2ch サブウーファー出力にも採用を拡大した 11.2ch XLR バランス出力端子、HDCP2.2 や HDR 伝送（ファームウェア更新により対応予定）に対応した HDMI 端子、DSD や AIFF を含む充実のハイレゾ音源対応など、前作の魅力を全方位へ向けて発展継承させています。なお、既発売の 11ch パワーアンプ「MX-A5000」についてはモデルチェンジを実施せず、現行製品を引き続き生産いたします。

AVENTAGE
Separate Series

AVENTAGE セパレートシリーズは、音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求するヤマハのハイクラス AV コンポーネント＝AVENTAGE シリーズの頂点に立つセパレート AV レシーバーシステムです。セパレート構成でしか実現できない究極的な高音質と将来性を求めて、伝統的なクラフトマンシップと音づくりのノウハウを結集。ホームシアター愛好家の心を満たし、時を越えて信頼されるシアタールームのリファレンス機となることを目指しました。なお、AVENTAGE セパレートシリーズは全製品 5 年保証です。

【CX-A5100 主な特長】

1. 臨場感

・最新の 3 次元サラウンドフォーマット「Dolby Atmos®」および「DTS:X＊」対応デコーダーを搭載
＊ファームウェア更新により対応予定
・史上初となる 3 次元サラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生を実現した新シネマ DSP HD^3
・新次元の視聴環境改善効果をもたらす 64bit ハイプレシジョン EQ 採用の本機専用「YPAO」

2. 高音質

・Z/AVENTAGE シリーズで積み上げげたノウハウを駆使した高剛性シャーシと〈5 番目の脚〉
・4 回路分離パワーサプライやカスタムメイド電源トランスなどを投入した音質最優先の電源部
・ESS 社製 32bit DAC×2 基、独自の D.O.P.G.コンセプトを採用した高品位なオーディオセクション
・ノイトリック社製金メッキ仕様 XLR 端子を採用したバランス接続対応 11.2ch プリアウト、
オーディオ専用バランス入力を装備
・96kHz/32bit 対応に進化した本機専用のハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー

3. HDMI 関連機能

・HDCP2.2、HDR 伝送＊、4K/60p 4:4:4 映像信号に対応した 8 入力/2 出力の最新 HDMI 端子
＊ファームウェア更新により対応予定
・別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴ける HDMI 対応アドバンスドゾーンスイッチング

4. ネットワークオーディオ機能

・高精度ロージッタークロック内蔵の新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュール
・DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit 対応のネットワークオーディオ部

5. ユーティリティ機能

・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型
・複数のヤマハ製機器をひとつのアプリで操作したり、音楽を共有できる新機能「MusicCast＊」に対応
＊ファームウェア更新により対応予定
・スマートフォンやタブレットの音声を手軽にワイヤレス再生できる *Bluetooth*®オーディオ機能を内蔵
・独自の音質改善技術、ミュージックエンハンサーが *Bluetooth*®オーディオにも対応
・シネマ DSP の音場効果も直感的に制御、快適操作の専用アプリ「AV CONTROLLER」

6. 5 年間の長期製品保証

＜CX-A5100 主な特長＞

1. 臨場感

●最新の 3 次元サラウンドフォーマット「Dolby Atmos®」および「DTS:X」対応デコーダーを搭載

ドルビーラボラトリーズ社が開発した「Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）」と DTS 社が開発した「DTS:X*（ディーティーエスエックス）」、最新の 3 次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のどの位置にも定位または移動させ、3 次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。プレゼンススピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の 3 パターンから選択でき、別売の 11ch パワーアンプ「MX-A5000」との組み合わせで 5.1.2ch、5.1.4ch、7.1.2ch、7.1.4ch の 4 種類のスピーカー構成に対応します。

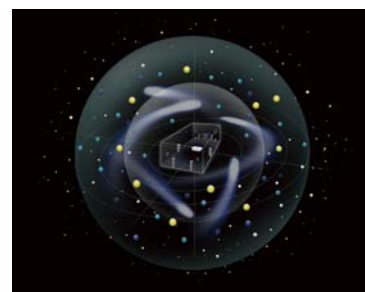
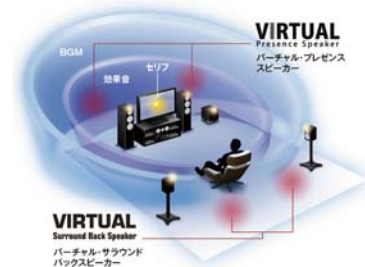
＊:「DTS:X」については製品発売日以降のファームウェア更新により対応予定。更新の開始時期や仕様などの詳細についてはヤマハ製品サイトなどで順次発表してまいります。

「フロントハイト」設定画面例

「オーバーヘッド」設定画面例

「ドルビーイネーブルドSP」設定画面例

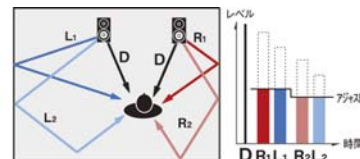
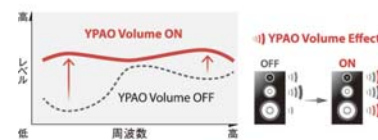
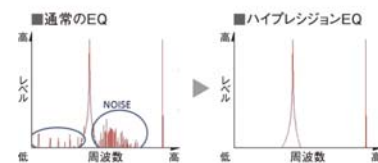
●史上初となる 3 次元サラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生を実現した新シネマ DSP HD^3

フロント/リアプレゼンススピーカーを含む最大 11.2ch スピーカー構成と、通常のシネマ DSP を大きく上回る圧倒的な情報密度を駆使して、音場の高さ方向を含む空間情報の完全再現を目指す 3 次元立体音場創生の最高峰＝シネマ DSP HD^3（エイチディ キュービック）。『CX-A5100』では、オブジェクトベースオーディオを前提とした新たな音場創生アルゴリズムの開発と信号処理の高速大容量化によって、史上初となるシネマ DSP HD^3 サラウンドプログラムと 3 次元サラウンドフォーマット（Dolby Atmos®など）との掛け合わせ再生を実現しました。サラウンドプログラムには、これまで DSP-Z11 と CX-A5000 のみに搭載されてきたシネマ DSP HD^3 専用のプログラムを含む計 33 種類のフルプログラムを搭載。最新の 3 次元サラウンドフォーマットが秘める膨大な潜在能力を、ヤマハが長年培ってきた独創の音場創生技術によって呼び覚まし、スピーカーの存在が消失するほどの開放感とリアリティをもたらします。さらに、仮想のプレゼンススピーカーを空間上に生成することで、プレゼンススピーカーを設置しなくてもシネマ DSP HD^3 再生をお楽しみいただけるバーチャル・プレゼンススピーカー機能とバーチャル・リアプレゼンススピーカー機能*も装備しています。

シネマDSP HD³音場概念図

＊:Dolby Atmos®および DTS:X 信号はバーチャル再生されません。

●新次元の視聴環境改善効果をもたらす 64bit ハイプレシジョン EQ 採用の本機専用「YPAO」

YPAO

全帯域のイコライジング処理を 64bit 演算で高精度に遂行し、演算誤差に起因する微細なノイズまでも低減する新開発 64bit ハイプレシジョン EQ の採用によって音の品位をさらに高めた本機専用設計の視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Organizer)を搭載しました。お使いになる部屋固有の初期反射音を積極的に制御して視聴環境を最適化する「YPAO-R.S.C.*」、その計測結果に基づいて再生時の周波数特性が音量に応じて聴感上フラットになるようにコントロールする「YPAO Volume」、設置した各スピーカーの距離と方角、プレゼンススピーカーの高さを自動計測することで音場空間を立体的に補正する「YPAO 3D 測定」を含む総合的な測定・補正プロセスによって、ハイトスピーカーの位置や仕様、室内環境によってサラウンド効果が影響を受けやすい Dolby Atmos®や DTS:X 再生の課題を克服。64bit 処理ならではの圧倒的なサウンドクオリティがそれぞれの補正能力を驚くほど自然に、しかも明確に引き出し、音の質的変化をほとんど感じさせない新次元の視聴環境改善効果をもたらします。

＊:R.S.C.= Reflected Sound Control

「YPAO-R.S.C.」の動作イメージ(概念図)

「YPAO Volume」の効果(概念図)

ハイプレシジョンEQの効果(概念図)

2. 高音質

●Z/AVENTAGE シリーズで積み上げたノウハウを駆使した
高剛性シャーシと〈5 番目の脚〉

H 型クロスフレーム&ダブルボトム構造で理想の機械的強度を発揮する制振・高剛性シャーシ、設置安定性を高めて筐体の共振を効果的に分散する独自のアンチレゾナンステクノロジー(Anti Resonance Technology)に基づく〈5 番目の脚〉など、Z シリーズや AVENTAGE シリーズで実績を積んだ筐体設計技術を投入。さらにボディ両サイドにはデザイン性を高め、筐体全体の制振にも貢献する肉厚のアルミサイドパネルを装着しました。

H型クロスフレーム&ダブルボトム構造の
制振・高剛性シャーシ

●4 回路分離パワーサプライやカスタムメイド電源トランスなどを投入した音質最優先の電源部

オーディオ回路、デジタル回路、アナログ映像回路、FL ディスプレイ回路のそれぞれに専用電源を割り当てる本機専用設計の 4 回路分離パワーサプライを搭載。各回路間の相互干渉を防ぐとともに、アナログ電源トランスを 100%オーディオ回路専用として使用することで全動作モードでの S/N を大幅に向上させました。加えて、カスタムメイドのケース密閉型 EI 型トランスや大容量ブロックコンデンサー、電源供給の最短化と磁場効果の低減を目指した給電レイアウト、バランス出力回路専用電源などにより、ハイエンド AV プリアンプに求められる音の情報量と精度、そして大音量時の強靭な駆動力のすべてを満たしました。

ケース密閉型EI型トランス

●ESS 社製 32bit DAC×2 基、独自の D.O.P.G.コンセプトを採用した高品位なオーディオセクション

ESS社製ハイグレード32bit DAC×2基

ESS 社製 32bit ハイグレード 32bit DAC「SABRE[32] Ultra DAC ES9016」を全 11.2ch 用として 2 基搭載。入力部と D/A コンバーター部の電位差を解消して微小信号の再生品位を向上させる伝統の D.O.P.G.(DAC on Pure Ground) コンセプトが、ESS D/A コンバーターの特質である微小信号の再現性とディテール表現力、そして大音量時におけるダイナミクスの忠実な再現力を余すことなく引き出します。また、「シャープロールオフ」、「スローロールオフ」、そしてヤマハオリジナルの「ショートレイテンシー」の 3 種類のデジタルフィルター特性と、ウルトラロージッターPLL 回路による 3 段階のジッター除去特性の組み合わせを、お好みの音質傾向やデジタル信号の精度に合わせてお選びいただけます。いっぽうアナログオーディオ回路には、ローム社との共同開発による高精度電子ボリュームや、ルビコン社とのコラボレーションで生まれたオリジナル PML(薄膜高分子積層)コンデンサなどを新たに投入。ヤマハ AV レシーバー史上最高の音の品位を目指しました。

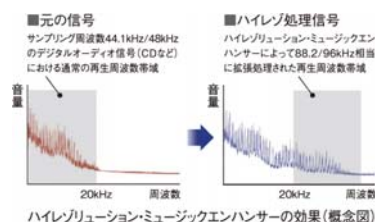
●ノイトリック社製金メッキ仕様 XLR 端子を採用したバランス接続対応 11.2ch プリアウト、オーディオ専用バランス入力を装備

ノイトリック社製金メッキ仕様 XLR端子

サブウーファー用の 0.2ch 出力を含む 11.2ch すべてのプリアウトには、通常の RCA コンポジット(アンバランス)音声出力端子に加えて、XLR バランス音声出力端子を装備。当社 MX-A5000 をはじめとするバランス入力端子付きパワーアンプやアクティブサブウーファーとの組み合わせでノイズの影響を受けにくい信号伝送を実現します。さらに、バランス音声出力を備えた再生機器との高音質接続が可能な XLR バランス入力端子も装備。すべてのバランス入出力端子には、ヤマハの業務用ミキシングコンソールでも実績を積んだノイトリック(NEUTRIK)社製の金メッキ仕様 XLR 端子を採用しています。

●96kHz/32bit 相当に進化した本機専用のハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー

ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサーの効果(概念図)

非圧縮(CD、WAV、AIFF)および可逆圧縮(FLAC、Apple Lossless)音声を最大 96kHz/32bit 分解能まで拡張処理する本機専用設計のハイレゾリューション・ミュージックエンハンサーを搭載。96kHz/24bit 分解能の従来型と比較して、さらにナチュラルで本質的な音質改善効果を実現し、CD をはじめとする既存のピュアオーディオソースにハイレゾ音源さながらの豊かなプレゼンスをもたらします。

3. HDMI関連機能

●HDCP2.2、HDR伝送、4K/60p 4:4:4映像信号に対応した8入力/2出力の最新HDMI端子

最新の著作権保護技術であるHDCP2.2、HDMI規格の最新バージョンに規定されたHDR*1映像伝送、4K/60p 4:4:4映像信号*2のパススルー/4Kアップスケーリングに対応した8入力/2出力のHDMI端子*3を装備。4K Ultra HDをはじめ、さまざまなタイプの映像信号を幅広くサポートします。さらに主要メーカー製テレビ/レコーダーとのリンク機能*4、お手持ちのテレビと本機とをHDMIケーブル1本で接続できるオーディオリターンチャンネル（ARC）、アドバンスドゾーンスイッチング対応HDMI出力（後述）などにも対応しています。

＊1：HDR（ハイダイナミックレンジ）映像伝送とは、従来より幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術のことで、4Kテレビや次世代光ディスク、映像配信サービスなどでの導入が期待されています。（ファームウェア更新により対応予定）

＊2：本機における4K/60p映像信号のサポートフォーマットはRGB、YCbCr4:4:4、YCbCr4:2:2、YCbCr4:2:0です。

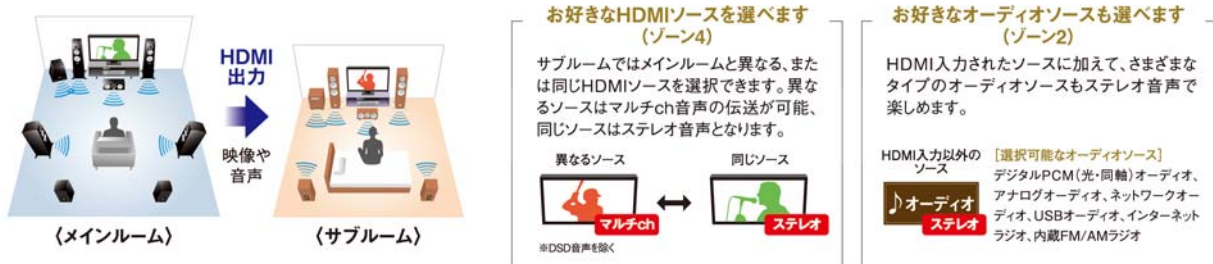
＊3：HDCP2.2およびYCbCr4:2:0以外の4K/60p映像信号に対応したHDMI端子は入力8系統のうち前面端子を除く計7系統です。

＊4：HDMIによるリンク機能（HDMIコントロール）は、本機～対応テレビ（レコーダー）間をHDMI接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。
http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/

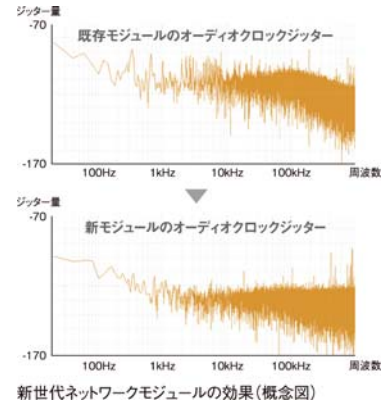
●別室で映画の続きを観たり、お好みのオーディオソースが聴けるHDMI対応アドバンスドゾーンスイッチング

メインルームと同じ、または別のソースを選んで別室のHDMI対応テレビやホームシアターにHDMI伝送したり、HDMI入力以外のオーディオソース（デジタル/アナログ音声、ネットワーク音声、FM/AMラジオ）を別室に伝送できるアドバンスドゾーンスイッチングを装備。メインルームから寝室やキッチンなどに移動して映画の続きを観賞するときや、メインルームとは異なるソースを楽しみたいときに便利です。各ゾーンの切り換えは本体またはリモコンのボタンのほか、専用アプリ「AV CONTROLLER」でも操作できます。さらにゾーン2/3については、メインゾーンで聴いているソースと同じものを常に再生する「Main Zone Sync」入力にも新たに対応。たとえばキッチンなどのサブルーム側で入力切り替え操作をすることなく、ルーム間でのコンテンツ共有が可能になりました。

4. ネットワークオーディオ機能

新世代ネットワークモジュールの効果（概念図）

●高精度ロージッタークロック内蔵の新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュール

ネットワークオーディオの音質を左右するキーデバイスには、高精度ロージッタークロックを内蔵した新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載しました。DSD を含むハイレゾ音源の高品位再生を目指して開発されたこのデバイスは、ネットワーク/USB/*Bluetooth*®再生におけるジッターノイズの発生を大幅に低減し、さらなる S/N 向上を達成。ハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分けます。

幅広い音声フォーマットに対応するハイレゾ再生機能を装備。
新開発ネットワークモジュールにより音質も向上させました。

●DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit 対応のネットワークオーディオ部

ネットワークオーディオ部は、これまでの WAV/FLAC 192kHz/24bit 再生、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生に加えて、新たに DSD 5.6MHz 再生（DSD ダイレクト再生対応）および AIFF 192kHz/24bit 再生にも対応。パソコンや NAS（ネットワーク HDD）などにストックした大量の音楽ライブラリーも、選曲レスポンスの速さで定評のある専用アプリ「AV CONTROLLER」や「MusicCast CONTROLLER」を使えばストレスなく快適に聴くことができます。

5. ユーティリティ機能

●家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型

家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵し、LAN ケーブルを接続しなくても、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、専用アプリ「AV CONTROLLER」での本機のワイヤレス操作を実現。さらに、スマートフォン/タブレット内の音楽コンテンツのワイヤレス再生や、「AV CONTROLLER」での操作などが無線 LAN 環境のない場所で手軽に行える「Wireless Direct」も内蔵しています。

※無線 LAN と有線 LAN との同時接続はできません。Wi-Fi または有線 LAN 接続と Wireless Direct 接続との同時使用はできません。無線 LAN で接続できる距離は環境に依存します。

内蔵Wi-Fi機能の使用例
（家庭内ネットワークにワイヤレス接続）

**●複数のヤマハ製機器をひとつのアプリで操作したり、
音楽を共有できる新機能「MusicCast」に対応**

家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器の操作や、対応機器間での音楽コンテンツの共有などがひとつのアプリで行えるヤマハ独自の新機能「MusicCast」（ミュージックキャスト）に対応。専用アプリケーション「MusicCast CONTROLLER」をお手持ちのスマートフォン/タブレットにインストールすれば、MusicCast 対応機器と本機との間で音楽コンテンツの配信/受信を簡単に行うことができます。

ワイヤレスネットワークの新機能「MusicCast」

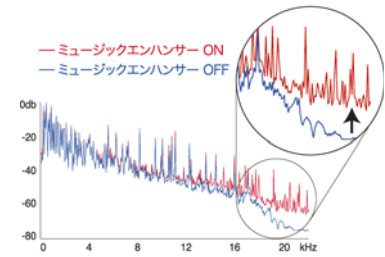
●スマートフォンやタブレットの音声を手軽にワイヤレス再生できる *Bluetooth*®オーディオ機能を内蔵

お手持ちの *Bluetooth*®対応スマートフォンやタブレット、携帯音楽プレーヤーなどの音声を手軽にワイヤレス再生できる AAC フォーマット*対応の *Bluetooth*®オーディオ機能を内蔵。接続と連動して本機の電源が自動的にオンになる *Bluetooth*®スタンバイも装備し、高音質の *Bluetooth*®リスニングを快適に楽しめます。

＊:iPhone や iPad など AAC フォーマット対応 *Bluetooth*®機器との無線接続時に高音質再生を実現します。

●独自の音質改善技術、ミュージックエンハンサーが *Bluetooth*®オーディオにも対応

スマートフォンや携帯音楽プレーヤー、インターネット経由の音楽/映像配信サービスなど、さまざまな圧縮音声をより豊かなサウンドで再現するヤマハ独自の音質改善技術「ミュージックエンハンサー」が新たに *Bluetooth*®再生にも対応。圧縮音声で失われがちな高音域の情報量や低音域の明瞭感を効果的に補正し、クリアで奥行き感のある音が楽しめます。

— ミュージックエンハンサー ON
— ミュージックエンハンサー OFF

ミュージックエンハンサーの効果〈概念図〉

●シネマ DSP の音場効果も直感的に制御、快適操作の専用アプリ「AV CONTROLLER」

ヤマハ AV レシーバー用アプリケーション「AV CONTROLLER」に対応。お手持ちのスマートフォンやタブレットにインストールして、本機の基本操作や各種設定をより快適にお使いいただけます。また、ロータリー型とスライド型をお好みで選べる音量調整、お使いの端末の OS やスクリーンサイズにマッチした美しいグラフィックデザインなどのすぐれた基本設計に加え、シネマ DSP の音場効果をピンチ＆スワイプ操作で直感的にカスタマイズできる「DSP 調整」*など、ホームシアター愛好家の期待に応える機能も装備しています。

※iOS 6.0 以降がインストールされた iPod touch（第 3 世代以降）/iPhone（3GS 以降）/iPad、Android OS 2.1 以上がインストールされた Android 端末に対応。

＊:「DSP 調整」は今回発売する CX-A5100 など、2014 年以降発売のネットワーク対応 AV レシーバーでお使いいただけます。

（左）シネマDSPの音場効果をピンチ&スワイプ操作で直感的に操作できるDSP調整画面例
（右）操作感・視認性に優れたロータリー型音量調整

6．5 年間の長期製品保証

長期間にわたり安心してご愛用いただけるよう、CX-A5100 にはお買い上げ日より 5 年間のメーカー製品保証を標準で付与しています。

【CX-A5100　その他の特長・機能】●AM 難聴取・災害対策のための FM 補完放送を受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー●ネットワークオーディオ再生時に気になる曲間の途切れを解消するギャップレス再生（DSD を除く）●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せる vTuner ブックマーク＆オートプレイに対応したインターネットラジオ機能●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスする Extra Bass●シアター空間に仮想のサラウンドバックスピーカーを生成するバーチャル・サラウンドバックスピーカー●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術●お手持ちのヘッドホンでサラウンド再生が楽しめるサイレントシネマ●音声信号経路を最短化して入力ソースの音をありのままに再現するピュアダイレクトモード●HDMI コントロール/スタンバイスルーオフ、ネットワークスタンバイオフ時の待機時消費電力 0.1W の省電力設計●一定時間使用しないと自動的に電源がオフになり、電源の切り忘れを防止するオートスタンバイ（20 分/2/4/8/12 時間に設定可能）●お手持ちの iPod/iPhone のデジタル音声接続に対応した前面 USB 端子●MM カートリッジ対応フォノ入力●高精細 HD フォントによる GUI 画面を採用した多言語対応 OSD（オンスクリーン・ディスプレイ）●WPS（プッシュボタン/PIN コード）または iOS 設定共有により無線 LAN を簡単設定

【製品の販売について】

『CX-A5100』の予約受付は 2015 年 9 月 16 日（水）より開始する予定です。当社では、充実した試聴環境と設置ノウハウを持つ全国の販売店とのパートナーシップのもと、本製品の価値をより良くご理解いただける環境づくりに努力してまいります。

【先行視聴会について】

『CX-A5100』の発売を記念して、9 月 12 日（土）に東京会場、9 月 19 日（土）に大阪会場で先行視聴会を開催いたします。詳細や応募については、下記ウェブサイトでご確認下さい。

http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/experience/event_cxa5100/

＜CX-A5100 主な仕様＞

型番			CX-A5100
HDMI 入力			8(前面入力 1)、AV1～7 は HDCP2.2 に対応
HDMI 出力			2(HDCP2.2 に対応、同時出力可、Zone2/4 出力可)
音声入力	アナログ	11 系統	2ch RCA アンバランス 9(前面入力 1、PHONO 1 含む)、XLR バランス 1(1:アース、2:HOT、3:COLD)
			マルチチャンネル 1(8ch)※1
	デジタル	6 系統	光 3
			同軸 3
音声入力(その他)		3 系統	USB※2 1(前面入力 1)、ネットワーク 1(Ethernet)、ネットワーク 1(Wireless)
映像入力		8 系統	コンポジットビデオ 5(前面入力 1)
			コンポーネントビデオ 3
音声出力	PRE OUT	RCA アンバランス	11.2ch :フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 フロントプレゼンス L/R、リアプレゼンス L/R※3 サブウーファーOUT 2、(STEREO、FRONT&REAR、MONO×2)
		XLR バランス	11.2ch :フロント L/R、センター、サラウンド L/R、サラウンドバック L/R、 フロントプレゼンス L/R、リアプレゼンス L/R※3 サブウーファーOUT 2、(STEREO、FRONT&REAR、MONO×2) 1:アース、2:HOT、3:COLD
	ZONE OUT		ZONE 2、ZONE 3※3
	ヘッドホン出力		1
モニター出力端子	MONITOR OUT/ ZONE OUT	2 系統	コンポジットビデオ 1
			コンポーネントビデオ 1
HDMI パススルー/アップスケーリング			4K/60p 対応
Bluetooth 再生方式	バージョン		Ver.2.1+EDR
	対応プロファイル		A2DP、AVRCP
	対応コーデック		SBC、AAC
	ワイヤレス出力		*Bluetooth* Class2
	最大通信距離		10m(障害物のない見通し距離)
シネマ DSP プログラム数			33
消費電力			65W
待機時消費電力	HDMI コントロール OFF/ スタンバイスルーOFF 時		0.1W
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルーON 時		1.5W
	ネットワークスタンバイ ON 時		Wired:2.2W Wi-Fi:2.2W Wireless Direct:2.4W
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルーON/ ネットワークスタンバイ ON 時		Wireless Direct:3.1W
寸法(幅×高さ×奥行)			435W×192H×474D mm (Wi-Fi アンテナ直立時:435W×247H×474D mm)
質量			13.5kg
付属品			リモコン、単 4 乾電池(4 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、 マイクベース、3D 測定用ポール、電源コード、取扱説明書、セットアップガイド

※1:マルチチャンネルのフロント L/R 入力は、AUDIO 3 RCA 入力端子にアサインされています。
※2:iPod/iPhone、および USB メモリー内ファイルの音声再生用。USB DAC としての機能はありません。
※3:Zone3 出力が有効となる時は R.Presence からの音声は出力されません。

ヤマハ　AV プリアンプ『CX-A5100』 カラー：(H)チタン／(B)ブラック

本体価格 280,000 円（税抜）

フロントパネルオープン時

アンテナは設置環境に応じて、
角度を変えることができます。

※CX-A5100 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVプリアンプ『CX-A5100』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/cx-a5100_j/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先
広報部　宣伝・ブランドマネジメントグループ
窪井、千葉
〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
TEL ０３－５４８８－６６０５
FAX ０３－５４８８－５０６３
ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/
（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■一般の方のお問い合わせ先
株式会社ヤマハミュージックジャパン　カスタマーサポート部
お客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
TEL ０５７０－０１１－８０８（ナビダイヤル：全国どこからでも市内通話料金）
TEL ０５３－４６０－３４０９（上記番号でつながらない場合）